

自然システム学専攻について

● アドミッション・ポリシー

生物・人間・物質・地球からなる自然システムの中で広い視野を持ち，生物学，バイオ工学，化学工学及び地球環境学に関する専門知識を総合的に応用して，自然と調和した科学の発展と豊かな人の生活の実現を目指す意欲ある学生を求めている。

生命と生命現象の謎に挑戦する生命システム，生物学を工学的発想で人間社会に適用するバイオ工学，主に化学の基礎知識をモノづくりに応用する化学工学，地球ダイナミクスを総合的に探究する地球環境学の各分野で，研究者・技術者・教育者を目指す学生を求めている。

● カリキュラム・ポリシー

自然システム学専攻の各コース（生命システムコース，バイオ工学コース，化学工学コース，地球環境学コース）において，生物・人間・物質・地球で形成される自然システムに関する専門知識を学び，それらを総合的に応用する能力を養う。自然科学の分野で，グローバル感覚と高い倫理感を持った研究者・技術者・教育者を育成するための教育を行う。

《生命システムコース》

分子・細胞レベルから個体・生態系レベル，基礎から応用に至るまでの生物学とその関連分野を基盤に，さらに発展させた学際融合型生命科学を目指す教育を実施する。

● ディプロマ・ポリシー

豊かで持続可能な自然環境ならびに自然と調和のとれた人間社会を実現するため，生命科学，バイオ工学，化学工学，地球環境学の研究に必要な専門知識と実践的スキル，国際社会で活躍できるプレゼンテーション・コミュニケーション能力，柔軟な課題設定・解決能力とプラン実践能力を身につけ，豊かな人間性と独創性を備えた人材を育成する。

修了に必要な要件は，

- (1) 各コース及びその関連分野の専門知識及び調査・研究に関する実践的専門知識を修得し，それらの知識を自然科学に応用するスキルを身につけ

- ている。
- (2) 国際社会の課題を分析して専攻の各分野がどのように貢献できるかを提案し、解決策を提案・実践できる能力を身につけている。
 - (3) 地球環境問題を解決して循環型社会・健康社会を実現するための課題提案、調査、解決能力を身につけている。
 - (4) 自らの結果や提案について、論理的な思考・判断のプロセスを含めたプレゼンテーションを行う能力を身につけている。さらに、コミュニケーションにより適切に社会へ展開できる能力を身につけている。

● 入学定員（自然システム学専攻博士前期課程全体）

67名

● 就職先（生物科学専攻修了生の実績に基づき予想される就職先）

《生命システムコース》

- ・ 民間企業（製薬・薬品，食品，環境，電気・材料，情報通信等）
- ・ 学校教員 中高（理科）教諭
- ・ 国家公務員，地方公務員